

三瑞だより

令和3年度2月号
荒川区立第三瑞光小学校
校長 渡邊 滋
発行 令和4年2月9日

学校評価アンケートから



校長 渡邊 滋

感染状況に日々驚くばかりですが、2月1日よりオンライン授業の取組がスタートしました。自宅にてタブレットパソコン等を用いて、学校より配信する授業をオンラインで受ける流れです。また、登校する子供は、教室などでオンライン授業を受けています。このような事態に備えて、様々な想定で準備を進めて参りましたが、全ての学級での完全オンライン授業は初めてのこと。機器設定や通信環境などでうまくいかない場面もありますし、配信する授業も教職員一同最善を尽くしてはおりますが、対面とは異なる環境に子供たちも戸惑うことがあるかも知れません。しかし、最初から満足いただける授業とはいかないかも知れませんが、見えてくる課題一つ一つを丁寧に克服し、結果的に「コロナのせい」ではなく、「未来のため」になるオンライン授業を目指して参ります。ご家庭におかれましては、児童の自宅での学習や、オンライン環境の整備など、多数ご協力いただいておりますこと大変感謝申し上げます。

さて、今年度もご多用の中、学校評価アンケートのご協力をありがとうございました。毎年、学校関係者評価を行い、より良い教育活動の実施に向けて常に改善を続けているところであります。その中から4点、抜粋してご報告申し上げます。なお詳細につきましては、学校ホームページにも掲載いたします。

◆「児童の様子」…児童一人一人の能力を伸ばすよう努めているか

児童、保護者ともにほぼ全員に肯定的な評価をいただきました。日常の学習活動はもちろんのこと、運動会や音楽会などの学校行事などでも、今後も継続して個性に合わせた成長を支えて参ります。

◆「健康・安全・安心」…児童の健康・安全に配慮しているか

感染予防対策をはじめとして、万が一の災害時への備え、日常の健康・安全に関する対応について、保護者の皆様から高い肯定的評価をいただきました。

◆「人間関係づくり」…教育活動の工夫により、望ましい人間関係を構築しているか

例年通りの行事実施が叶わなかった中でも、学校にできる最大限のことを模索したことについて、こちらも保護者の皆様からほぼ全員に肯定的評価をいただきました。

◆「伝統文化理解」…日本の伝統文化や国際理解を学ぶ活動を充実させているか

書道教室、和楽器体験授業、俳句の取組など、様々な伝統文化を学ぶ活動を充実させております。このことについて、児童・保護者の双方から、肯定的評価をいただきました。

◆「体力増進」…体を動かすことを楽しむ取組をしているか

本校の教職員による校内研究は体育科で行っております。活動内容や時期に制約はありましたが、児童の91%が肯定的評価をしていました。次年度も、体力増進に関する工夫を通じて、一層の体力向上に努めて参ります。

◆「相談体制づくり」につきましては、今後も充実させていくべき課題と捉えました。どんなことでも、いつでも学校にご意見等を寄せていただければと考えております。

子供たちに振り返りの大切さを指導している私たちも同様に、今回いただいた評価をしっかりと分析し、次年度の更なる教育活動の充実、向上に努めて参ります。



生活目標……寒さに負けないようにしよう

保健目標……かぜを予防しよう

給食目標……なごやかな食事をしよう

